

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-69024

(P2009-69024A)

(43) 公開日 平成21年4月2日(2009.4.2)

(51) Int. Cl.		F I	テーマコード (参考)
GO 1 N	21/76 (2006.01)	GO 1 N 21/76	2 G O 4 2
GO 1 N	21/77 (2006.01)	GO 1 N 21/77	B 2 G O 5 2
GO 1 N	31/00 (2006.01)	GO 1 N 31/00	V 2 G O 5 4
GO 1 N	1/36 (2006.01)	GO 1 N 1/28	Y

審査請求 未請求 請求項の数 14 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号	特願2007-238382 (P2007-238382)	(71) 出願人	806000011 財団法人岡山県産業振興財団 岡山県岡山市芳賀5301
(22) 出願日	平成19年9月13日(2007.9.13)	(74) 代理人	100113181 弁理士 中務 茂樹
		(74) 代理人	100114535 弁理士 森 寿夫
		(74) 代理人	100075960 弁理士 森 廣三郎
		(74) 代理人	100126697 弁理士 松浦 瑞枝
		(72) 発明者	中川 益生 岡山県岡山市理大町1-1 岡山理科大学 内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 化学発光測定方法及び化学発光測定装置

(57) 【要約】

【課題】ピストンが移動することにより、他方の溶液による噴流によってシリンダー内に乱流を発生させて試料溶液と反応剤溶液とを短時間で均一化することができ、発光効率が高く再現性の良い化学発光測定方法を提供する。

【解決手段】シリンダー2内で生じた化学発光を計測する化学発光測定方法であって、シリンダー2内でピストン3を移動させることにより試料溶液又は反応剤溶液の一方をシリンダー2内に吸入し、続いて他方の溶液を吸入し、他方の溶液による噴流によってシリンダー2内に乱流を発生させて試料溶液と反応剤溶液とを均一に混合させることにより生じた化学発光を計測することを特徴とする化学発光測定方法である。

【選択図】 図1

